

令和3年度 静岡県建設業審議会

資料1

働き方改革ロゴマーク
「ふじ丸」



本日ご意見をいただく内容

- 1 ビジョン、計画の進捗状況について
- 2 静岡県の担い手確保の取組について
- 3 産官連携による一斉休工の実施報告
- 4 適正な価格による発注について

1-1 進捗状況の確認について

経緯

前回の建設業審議会において、建設産業ビジョンの進捗評価を行った際、本文中に挙げられた234個の取組について、A, B, Cの3段階の進捗評価を行った。

項目を整理し、数値化して評価指標を分かりやすくすよう指摘をいただいた。

今回、建設産業ビジョンの評価項目を整理したうえで、数値目標には評価区分を定め、進捗評価を行う。

1-2 進捗状況の確認について

建設産業ビジョン2019で示した指標 (ビジョン 41,42ページ)

指標番号	指標内容	柱番号	種類
1	年間実労働時間	1	成果指標
2	建設業生産労働者年間賃金総支給額	2	成果指標
3	建設業従業者数 (維持目標)	2	成果指標
4	建設業許可業者の社会保険加入率 (適用除外を除く)	1	成果指標
5	売上高経常利益率 ※経常利益/売上高×100 (%)	3	成果指標
6	週休2日工事入札の実施件数 (県発注工事)	1	活動指標
7	工事着手日選択型工事の実施件数 (県発注工事)	3	活動指標
8	若手技術者育成型入札の実施件数 (県発注工事)	2	活動指標
9	地域を守る事業者維持・育成入札の実施件数 (県発注工事)	4	活動指標
10	建設業への就業者数 (高校卒業者)	2	成果指標
11	平準化率 (α=稼働件数、β=稼働金額: 県、市町)	3	成果指標
12	ICTを導入した建設企業者数 (県発注工事受注企業者)	4	成果指標
13	工事事事件数 (県発注工事)	3	成果指標

柱番号 1 働き方改革の推進、2 担い手の確保・育成、3 建設現場における生産性の向上、4 経営の安定化と地域力の強化、5 美しい景観の創造力向上

1-3 進捗状況の確認について

① 各指標の整理

- 「基準値」 ビジョン策定時(平成29年度)の現状値
- 「現状値」 令和2年度の実績値 (令和2年度実績が不明の場合は、判明時点の数値)
- 「期待値」 ビジョン策定時の短期目標(令和4年度末)を目標値として、基準値から目標値に向けて各年均等に推移した場合における各年の数値

② 指標の種類

- 「活動指標」 事業の実績や活動結果である、事業による行政サービスの提供量や行政活動の量を示す指標 (アウトプット指標)
- 「成果指標」 行政サービスの提供が市民生活にどのような成果や効果をもたらしているのかをあらわす指標 (アウトカム指標)

1-4 進捗状況の確認について

③ 指標の評価判断区分

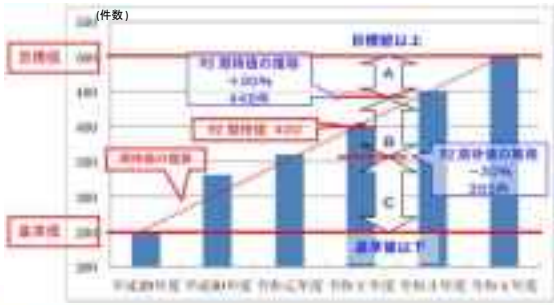
評価する年度の指標である「現状値」の判断区分は、「期待値」からの乖離状況による。

区分	判断基準
目標値以上	現状値が目標値以上のもの ※ (維持目標: 「現状値」が「目標値」以上のもの)
A	現状値が期待値の推移の+30%超え~目標値未満のもの
B	現状値が期待値の推移の±30%の範囲内のもの (維持目標: 「現状値」が「目標値」の85%以上100%未満のもの)
C	現状値が期待値の推移の-30%未満~基準値超えのもの (維持目標: 「現状値」が「目標値」の85%未満のもの)
基準値以下	現状値が基準値以下のもの ※

※ 目標値以上と基準値以下は、成果指標のみが該当

1-5 進捗状況の確認について

指標名	数値
基準値	250件：ビジョン策定時の平成29年度の数値
現状値	400件：令和2年度の数値
期待値	400件：令和4年度の目標値500件に基準値から目標値に向けて各年均等に推移した場合の令和2年度の数値



→本例では、現状値が期待値の±30%の範囲内にあるため、「B評価」となる

2-1 県の担い手確保の取組

担い手確保の推進

県交通基盤部では、建設業の将来にわたる担い手を確保するため、若年者に建設業の魅力伝える、「建設産業担い手確保・生産性向上支援事業」を実施しており、「静岡どぼくらぶ」という名称で、広く周知を図っている。



◆ 令和3年度実施計画

＜継続事業＞

- ・「静岡どぼくらぶ」講座
出前講座、建設現場体感見学会
- ・親子インフラツーリズム
- ・教員向け研修会
- ・小学生向け実学講座

＜新規事業＞

- ・合同企業面談会等への参加（ブース出展）
- ・若手建設従事者の交流会
- ・若手育成教育支援セミナー

2-2 県の担い手確保の取組

◆ 令和3年度実施の様子

「静岡どぼくらぶ」講座

＜出前講座＞

各学校へ出向き、建設の仕事伝えるキャリア教育、ドローンを使った測量体験、建設従事者との座談会等を実施した。



磐田市立
磐田向陽中学校



藤枝市立
広幡中学校

＜建設現場体感見学会＞

県内工事現場の見学を実施した。（バス代や保険料等の費用を県で負担）



掛川工業高校



静岡農業高校

2-3 県の担い手確保の取組

親子インフラツーリズム(夏)

対象：県内在住の小学生とその保護者

見学場所
・沼津アルプストンネル
・狩野川放水路

移動に海の県道駿河湾フェリーを利用



小学生向け実学講座

対象：県内在住の小学生とその保護者

場所
富士教育訓練センター

内容
・重機乗車体験
・左官体験
・鉄筋配筋体験

※今年度はコロナで中止



教員向け研修会（令和4年2月実施予定）

対象：高校教員

内容

- ・県内建設企業経営者の講話「建設産業への就職」
- ・県内建設企業若手技術者の講話「若手技術者の仕事」
- ・座談会



2-4 県の担い手確保の取組

若手建設従事者の交流会 1回目：6月29日 2回目：10月20日

1回目は午前中現場見学、各班に分かれ昼食を経て、課題発表に向けた意見交換。交流促進。2回目は各班からコンペ形式で課題発表。

見学場所・実施場所

(1回目)
午前：473号バイパス見学
午後：島田市内（三布袋）
(2回目) 県庁



若手育成教育支援セミナー 11月1日

若手の定着を図るために、専門講師から、若手の考え方や具体的な指導・コミュニケーションの方法を伝授
新型コロナ禍に対応し、対面講義とWeb講義を併用



2-5 県の担い手確保の取組紹介

◆ 新聞記事



令和3年6月30日 静岡新聞
静岡どぼくらぶ若手交流会